

だれでも幸せになれる教えです!!

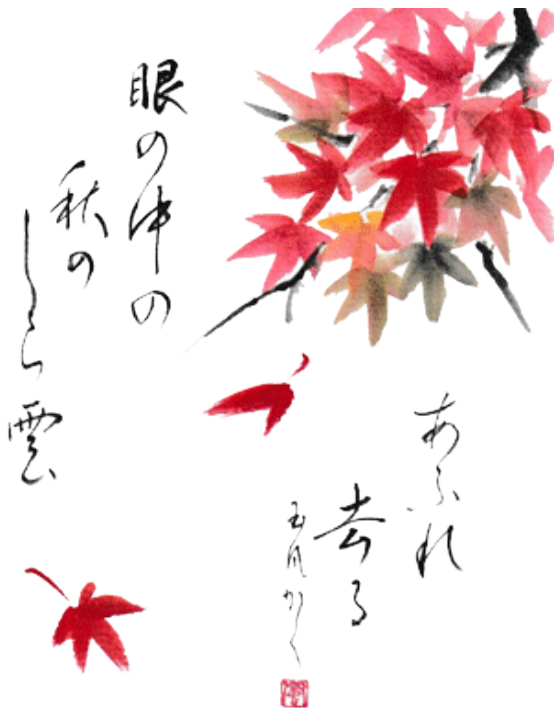
# ひかり

2023年

11月

219号

- ◇サンゲと徳積みと一心行
- ◇心にも良質な栄養が必要
- ◇余白のある人生は楽しい
- ◇理論理屈を学ぶ大切さ



宗教法人 真生会

<http://www.shinseikai-world.or.jp>

# 利他の心を育もう

『思いやりのある家庭と社会を作ろう！』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

# 第三十二回 大観音まじり

十月二十二日（日）素晴らしい秋晴れに恵まれ、盛大に開催されました。



導師、脇師の式典報告の祈り



子孫繁栄総供養・特別胎内仏ご奉安式衆行列



ドローン撮影をTV参拝



胎内仏ご奉安



会長先生ご夫妻の祝賀餅まき！

祝賀餅まき  
& 昼食会



大人気！たこ焼き  
キッチンカー登場



大喜びの子供餅まき！

お祭り広場で  
楽しくお弁当！！





# 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

たなか ひでひと

正しい目的に向かつての情熱は、人を動かし自分の運命を変えるのです。水も熱を加えれば湯となり、アルプスの雪や氷も太陽の熱力には溶け始め春を迎えます。人生奈落の底から這い上がり成功した人は、皆強い精神力と苦難にぶつかった時の気迫が基礎となっています。病人なら必ず治つて親のため人のために生き抜くのだ。看護人なら、私の真心でもう一度良くなつてもらおうのだという情熱があれば、病氣も吹っ飛んでしまいます。

人は往々にして注意をされた時に素直に聞く人が少ない。目上の人から欠点を指摘された時、「すいません」と返事ができたら優等生ですが、人生の落第生ほど、ふくれっ面をしてろくろく返事もしません。これでは以後引き立てもらえません。修行の場は道場やお寺ばかりではなく、家庭や職場なのです。教えない人は我流の道を進むがため最後行き詰ってしまうのです。

(1989年、真実に生きる31号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
たなか つねひと



## ◇サンゲと徳積みと一心行

私の最近の体験ですが、九月末から一週間、のどが真つ赤に腫れあがり、つばを飲み込むにも飛び上がるほどの痛みが走り、夜は痛みで何度も目が覚め、痛み止めの薬もほとんど効かない状態でした。お粥が少しやつと食べられるという大変辛い毎日で三キロほど痩せました。幸いコロナやインフルエンザではありませんでした。

たが、薬を変えてもらい、毎日点滴を打ってもらいましたが一向に良くなりません。医者に頼っているだけではいけない！《懺悔罪障消滅》と教えられますから、「何か呑み込めない問題はなかったか、刺さるような厳しい言葉を発していなかったか」などの懺悔もし、千円、二千元、一万円と症状が良く



なるまで何度も病気平癒の徳も積ませてもらいました。

一週間ほどたった深夜、痛みと息苦しきで目が覚め、家内に一心行で直接のどを三回まわり拝んでももらいました。すると不思議にも楽になり、朝まで眠ることが出来ました。翌朝から痛みが和らぎ急速に回復したのです。

### ◇心にも良質な栄養が必要

病状は回復したのですが、法座から帰ると頭がフラフラするのです。家内が「お粥ばかりで、栄養のあるものをほとんど食べていなかったから、きつと脳に栄養が足りないからですよ」と栄養価の高い高カロリーの肉料理を作ってくれました。するといっぺんに頭のふらつきは無くなったのです。

脳も体も栄養が足りなくなると、病気になったり、足元が危うくなるように、心にも栄養が足りなくなると、心があっちへフラフラ、こっちへフラフラと信念が揺らぎます。

豊 楽



心の栄養とは何か？それは感謝や喜びであり、法話や教えの体験談など感動・感激するいい話は心を豊かにする高カロリーで良質な栄養です。反対に怒り、愚痴、不平不満、金儲け中心の貪欲とんよくは、低カロリーの心身を病気にする悪質な毒素です。いくら高級なグルメを食べても、それでは健全な心は保てません。

#### ◇余白のある人生は楽しい

多くの人々の心に感動を与える名曲を数多く残した音楽家の谷村新司さんが亡くなりました。かつて、同じ音楽家のさだまさしさんから「谷村さんの歌は隙間すきまだらけだ」と言われると、余白があるからこそ口ずさみやすく、包み込まれるような感覚になるのだ…と。

代表作「昂すばる」には、谷村さんの物質文明に対する深い考察があったと言われます。昂とは遙はるか宇宙のおうし座にあるプレアデス星団の和名で、古代中国では「王者や農耕の象徴」とされ、「財の星」「物質の豊かさのシンボル」です。

「さらば昂よ」とは人間の尽きない物欲の物質文明に別れを告げ、精神的な豊かさを求めようというメッセージが込められているそうです。それが真理であるからこそ年代を超え、国を越えて心に響き、名曲たらしめているのです。



「目を閉じて何も見えず、哀しくて目を開ければ、荒野に向かう道より他に見えるものはなし」

地位や学歴や財という目に見えるものしか信じて来なかった人生の過去には、心に残るものは何もなく、自分らしい足跡あしあとも無い、進むべき未来にも希望は見当たらないう哀しさを歌ったと言われます。

「まさか」の災害や事件が多発する現代社会、目に見えない神仏の力や先祖のご守護である「お陰さま」が信じられる人生は豊かで安心安全です。

「人間」とは人には間まがあると書きます。心にゆとり即ち「間ま」のない人を「間抜け」というのです。お金、学歴、地位という自分の幸せのためにだけ、あくせく働く大人たち、遊ぶ間もなく塾や習い事に通う余裕のない子供たち、人の幸せや世界平和のために自分の時間を削けずって「間」を作れる本当の「人間」になりましょう。



かつて開祖さまの書道の師であった故・平松紫雲先生は、「半紙いっぱい  
字を書くのではなく、余白があるからこそ書が引き立ち、字が美しく見える」  
と余白の大切さを教えられました。

そして、人生最高の余白は信仰を持つことです。心に本当のゆとりがなければ「まず人様」という信仰生活はできません。自分も自ら信仰に目覚め、ご縁ある人を正しい信仰という人生を引き立たせる余白にお誘いしましょう。

#### ◇理論理屈を学ぶ大切さ

私事ですが、先日同窓会で出会った高校時代の剣道仲間二人が意気投合し、三十数年ぶりに剣道を再開しました。段位七段の道場長から改めて竹刀の持ち方、構え方、振り方、足さばきなどの基本を一から学び直しました。

学生時代は試合に勝つことばかりを目指して、若さと勢いだがむしやらかに稽古こしていましたが、改めて理論や理屈を教えてもらうと、やっていたことがかなり間違っていたことに気付きました。ちゃんと理論理屈を学び、素振りすぶりや摺すり足などの基本の練習も何のために必要なのか理解できると基本練習も楽しくなり、手抜きをしなくなるので上達も早いと教えてもらいました。

剣道では「心・技・体の一致」と言います。勝ちに焦る自分の心に勝つ「克己心」を錬磨し、道理に合った練習で技を熟達させ、体幹を鍛える、このバランスが上達の条件と言われます。

信仰も同様、「解・信・行」の三つのバランスが不可欠です。幸せになるために必死に努力するだけではなく、ご法をしつかり学び「理解」し、きっと良くなると「信じる不動の心」を持って、怠ることなく実行を続ければ、どんな難問題も解決し、誰でも幸せになれるのです。

法が正しく理解できると基本信行である毎日の読経や例月供養の徳積み、教えを学ぶ法座が楽しくなり、徳分が磨かれ人格が高まるのです。

そして、仏教本来の目的である「苦からの解放、即ちありのままを喜び、人格完成という悟りの境界になる」という信仰の本当の喜び「法悦」が深まっていくのです。



日めくり解説⑦

世の中、目で見えることには限界があり、全体のほんの一部しか見えていません。「八十八」と書いて「米」と言う字になります。昔から一粒のお米が収穫できるまでには八十八の手間暇がかかっていると言われます。今日の幸せや成功の陰には、目には見えない親の恩、兄弟や友人、先輩後輩など多くの人の支えや応援があつてこそです。自分一人だけの努力では何もできません。一つの物や出来事に想像力をはたらかせ、「ありがとう」の感謝の心を持ちましょう！目に見えないお蔭を心で感じられる人生は、きっと豊かな人生になります。

12

肝心なことは  
目に見えない  
だから  
心で感じて  
心で見よう

13

打順

一者と四者は

役目が違う

どちらも

必要なのは

同じ



野球には一番から九番までのバッターがいます。それぞれに点を取り勝つための役目があります。一番は短打でも四球でもいいから塁るいに出る。二番は自分は犠打ぎだでアウトになってもランナーを進める。三番は長打でランナーをかえす。四番はダメ押しの一打。三振でもいいから迫力が役目。三番・四番は華やかだが、九人全員が三番・四番では勝負は勝てません。映画も脇役がいるから、主役が引き立つのです。会社にもお茶出し役がいるから、お客様がもてなせます。社長だけでは接客はできません。自分の役目に自信と誇りを持ち、工夫くふうしましょう。

# 今月の運勢（12月）

（2023年12月7日～2024年1月5日）

## 一 白水星

難問題にぶつかり、乗り越える力も弱い。一挙に挽回するのは難しく行き詰るが、盲進するよりは立ち止ることの方が得策である。無理をせず、新しい方法に切り替えて柔軟に粘り強く進めばよい。

## 二 黒土星

脚光を浴びる場所のはずが、心ならずも日当たりの悪い不遇の時である。苦難の中でも志を失わなければ必ず利がある。知恵を内に秘め掴み所のない態度で活躍の時を待つこと。

## 三 碧木星

雷鳴に呼応して雨が

降ったのち空が晴れ渡るように、機に乗じて

物事を解決する力がある。問題がなければどつしり構え、問題が残っていれば一気に解決すれば吉となる。

## 四 緑木星

周囲から注目され観られていたことを自覚すること。見せかけや形式的行動ではなく、誰から見られても尊敬され慕われるような真剣な言動を心掛ければ信頼を得られる。

## 五 黄土星

太陽が上がるように運気はゆつくりと確実に上がっていく。テンションを上げ、明るい

挨拶や声がけを心掛けること。暗い顔や心がへこむような暗い話はないこと。

## 六 白金星

活動範囲を広げ、多くの人と出会うようしよう。突然の出会いが人生を変えていきま

## 七 赤金星

す。予期せぬ臨まぬ出会いもあるが、嫌わなければ最後は必ず良い出会いとなる。

年末を迎え、動きを止めて一年間を振り替える時。今年一年は色々な問題にぶつかって変化の年であった。何を切り替え何を継続するか熟慮し、来年に向

かって知恵と力を蓄えよう。

## 八 白土星

積み重ねてきたことを完成させ、蓄財と共に徳を大いに蓄える好機である。正しい道を踏めば冒険をしても天意や上位者の後押しを受け無事乗り切ることが出来る。

## 九 紫火星

収穫を得て楽しい時だが、思わぬ衝突や反目も起こりやすいので油断しないこと。親しき中にも礼儀を正し、馴れ合いにならないように心がけること。トラブルがあったら尊敬できる人に従えば安心。

## しあわせ眼鏡

雑用という仕事はない。  
つまらないと思ったら、  
すべてが雑用。  
もしがしたら、自分の仕  
事が誰かの役に立ち、誰  
かを幸せにできるかもし  
れない。  
そう思えば、どんな仕事  
も楽しくなる。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |            |  |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>T E L 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>T E L 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3 - 10<br>T E L 052 - 351 - 3904   |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします